

私の想い

振り返って



野方公民分館
分館長
弓削 一弘

野方公民分館行事が、地域の皆様のご協力を得て、滞ることなく推進できますことに深く感謝致します。

私は、平成21年に分館長を拝命しました。折しも大崎第一中学校の閉校という大きな問題を抱えてのスタートでした。仕事の重大さに戸惑いながらも、今日に至っております。

町内3校の統合は時代の流れでもあり、住民の願いを他所に、平成26年3月閉校することが決まりました。

22年度は、宮崎県を中心に口蹄疫が発生し莫大な被害をもたらしました。野方分館では、防疫対策の一つとして各農家に酢を配布しました。

更に慎重を期す為に、野方の最大行事であります、野方ふれあいふるさと

祭りを中止と致しました。

23年度は、東日本大震災が発生。津波により未曾有の大災害となりました。この時も、ふれあいふるさと祭りを中止することを考えましたが、地域に元氣と活力を、被災地には義援金を募ることで開催致しました。

24年度は、「第30回記念野方ふれあいふるさと祭り」を例年より拡大し、前夜祭を行いました。大崎ものづくり会館の協力により、インドネシア高校生舞踊団が参加して下さり、国際色豊かな祭りとなりました。

25年度は、大崎第一中学校閉校記念行事に向けて実行委員会を設立。9月には大崎第一中閉校記念体育祭が開催され在校生・同窓生・地域の方々が一丸となり、閉校記念に相応しい心に残る一日となりました。この事は後日、NHKテレビ「かごしま大作戦」で放映されました。

3月15日に開催された閉校式典を始めとする記念行事は、多くの方々のご支援ご協力を得て、厳粛な中にも盛大に開催され、44年間

の幕を閉じました。又、国のふるさと再生事業の一つとして、野方音頭とコケモーブーの着ぐるみを作成しました。また荒地を耕し、芋を植え収穫までしたその芋と野方の新米を使用した分館の焼酎(野芋)を造り、大変好評でした。

26年度は、9月に第一回野方小学校と分館合同の運動会が予定されています。

学校、地域が協力、一体となり成功させたいと思います。この5年余を振り返り、人の集まることの大切さを学びました。まだまだ野方の抱えるものは大きいですが、球技大会等のスポーツの集まりにも力を注ぎ、すすめて参りたいと思います。

そして、行政や地域の方々に分館活動へのご支援ご協力をお願いして、地域の発展に繋がりたいと思います。



野方のゆるキャラ、
コケモーブー

編集後記

発刊の頃には夏真っ盛りで、太陽の下で黄金色に頭を垂れた稲穂と悪戦苦闘で、収穫の真つただ中と想像いたします。台風の影響も軽微に済み、さぞや大収穫と予想します。

今の日本政治に対して賛否両論の意見を持つておられる方が大多数だと思います。集団的自衛権についてはどうでしょうか。アジアで韓国や中国から圧力や挑発行為が連続する日が続いています。外国に對等に意見が言える日本になつてもらいたいものです。

貴方は今の日本、どう思いますか。来年は消費税が10パーセントになるなど、あらゆる問題にたいして十分な説明もありませんに……

暑い夏が続き熱中症が多発しておりますが、どうぞ御自愛ください。

皆様に親しまれる議会だよりをお届けいたします。

(諸木悦朗)

議会広報広聴常任委員会

- 委員長 宮本昭一 副委員長 小園孝一
- 委員 上原正一 委員 吉原信雄
- 委員 神崎文男 委員 諸木悦朗
- 発行責任者 大崎町議会議長 中倉毅